

〔第 140 回銀行業務検定試験〕
「法人融資渉外 2 級」団体最優秀賞受賞

山梨中央銀行

～ソリューション機能を発揮し、地域貢献を目指す～

今回は、去る 2018 年 6 月 3 日に実施された第 140 回銀行業務検定試験の「法人融資渉外 2 級」において団体最優秀賞を受賞された、山梨中央銀行へ伺いました。

山梨中央銀行は、明治 10 年に第十国立銀行として創業以来、地域に密着しながら地域社会の発展とともに成長してきました。現在同行では、ソリューション機能を発揮した営業力強化に力を入れ、地域経済の活性化にさらに尽力しています。

今回、快く取材に応じてくださいましたのは、人事部副部長兼人材開発課長の小林一さんと、同課課長代理の長田幸恵さんです。

——御行が求める人材像について教えてください。

求める人材像は、「自立（律）し、自己研鑽に励み、自信と誇りをもって行動する人材」です。

試験に関して言えば、好き・嫌いや、やりたいう・やりたくないという感情を律し、やるべきこ

とを理解し、行動に移し、結果を出せる人材ということになるかと思います。つまり、何を受験するのか自分で決めたならば、受験し、合格することですね。

——人材育成の基本方針とはどのようなものですか。

昨今の、不確実で変化の激しい金融環境に対応していくため、「営業力強化」を最重要課題と位置づけ、「営業ができる人材」「営業に強い人材」の育成に取り組んでいます。また、組織力の強化策として、「働きがい」を追求し、「生産性」の向上に繋げるために、各人の強みの醸成と強みの活用にも取り組んでいます。

また、業務運営方針では、その 1 つ目に「信頼獲得に繋がるソリューション機能の発揮」ということを掲げています。法人営業の担当者がソリューションについて考えてみたときに、試験勉強がソリューション機能の発揮の一つに結びつくと考え、今回の法人融資渉外 2 級の受験に繋がったと思います。

——御行が目指している、地域やお取引先に対する役割を教えてください。

中期経営計画「S.T.E.P.up 2019」にまとめていますが、経営ビジョンを「地域経済活性化の原



▲甲府駅から徒歩数分に位置する本店

動力となり、地域と共に成長・発展し続ける銀行」として、それを目指しています。そのために、お客さまのニーズや経済環境の変化等に対応した総合金融サービスを適時適切に提供し、地域の皆さまから信頼を得るとともに、金融仲介機能を発揮して、地域経済や地場の産業・企業の発展に貢献しています。

まさにビジョンの実現に向けて地域貢献活動、またはソリューション機能の発揮、これらによって確固たる信頼を築くために、お客さま自身がまだ気づいていない潜在的な課題を見つけ出そうという取組みもしています。結果として、お客さまから信頼を得られ、それが地域経済活性化の原動力となり、地域と共に発展し続ける原動力になることに繋がっていくのではないかと考えています。

——現在注力している取組みを教えてください。

人材育成と営業力強化ですが、AIやIoTなどのデジタル技術がどんどん普及加速していくなかで、銀行の未来を担う行員には、今まで以上に付加価値の高い業務へのシフトが求められています。今後はフェイストゥフェイスのコミュニケーション能力の高い人材が求められていくのではないかと思います。そのなかで、どんな困難な状況であっても、お客さまの真の課題に正面から立ち向かう行員を一人でも多く育てていきたいと考えています。

——今回、「法人融資渉外2級」の結果が合格率35.29%、平均点52.41点という好成績でした。この種目を受験された目的を教えてください。

当行は大卒であれば入行後2年後に総合職・地域総合職、業務職とコース選択をしますが、総合職・地域総合職の選択希望者は、入行後2年以内に法務・税務・財務の各3級の取得を必須としています。ただし、資格を取得すること自体が目的ではなく、自己研鑽に対する意識を示す指標の一つとして、銀行業務検定試験への取組み姿勢を参考としています。お客さまのライフステージに応



▲人事部副部長兼人材開発課長の小林一さん（右）、同課課長代理の長田幸恵さん（左）

じた多面的かつ深度あるソリューション提案を行うためには、行員一人ひとりが自己研鑽を通じて、業務知識を深めていく必要があるからです。

銀行業務検定試験に取り組むことによって、知識の習得度合を確認できるため、当行全体で各自の業務に関連する種目の受験を推奨しています。加えて業務運営方針である、「ソリューション機能の発揮」ということを実現するために、受験者が自ら法人融資渉外2級の受験を選択したと思います。

——今回、団体最優秀賞を受賞することができた要因を教えてください。

当行では、所属毎に所属員の必須資格の取得状況を定期的に還元しています。所属長が必須資格やその他種目の取得に向けた声かけを行い、所属員の資格取得に対する意識が高まったことが、今回の受賞の要因の一つであると考えています。

また、合格者には奨励金を支給するとともに、行内で紹介することでモチベーションの向上に努めています。

以前は受験票や受験結果を個々人に直接配送していましたが、所属長経由で受験者一人ひとりに配付するよう変更したことで、受験率や合格意欲は間違いなく高まっています。

行員の自己研鑽に対する意識の向上が、このような結果に結びついたと考えており、嬉しく思います。

（お忙しいなか、取材にご協力いただきました小林さんと長田さんには心から感謝申し上げます）